政策コメンテーター報告（第２回、意見照会期間：2014年９月24日～10月６日） ロバートフェルドマン：モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社チーフエコノミスト

| 質問事項 | | 選択式回答 | 記述式回答 |
|---|---|---|---|
| 経済動向 | | 悪くなっている | 景気指標が悪化する中、物価上昇が行き詰まっている。さらに、日銀の景気認識が実際の指標とかけ離れているため、政策に対する信頼度が後退している。 |
| 1-1 | 現在の経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(6月下旬から7月上旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。 | | |
| 1-2 | 今後の経済のリスク要因（第1回時点と比較して変化がある場合）、あるいは将来への新たな期待要因について、300字以内でご記入ください。 | － | リスクは政策遅れの要因：（1）過信。（2）不都合な事実を無視すること。（3）縦割り行政。世界経済のリスクは中国経済の減速。 |
| 経済再生と両立する財政健全化 | | － | 消費税が10%になっても、GDPの約12%に相当する更なる財政調整が必要（財政審議会の計算）。弊社の投資家アンケート調査では、消費税を15%－20%、歳出削減を20－25%にするのが望ましいという見方が一番多かった。また、回答分布ではより大きな歳出削減、より小さい増税に偏っている。社会保障は自己負担を大きく引き上げ、非社会歳出を研究開発や教育に集中して初めて経済・財政再建になる。 |
| 2 | 財政健全化に向け、歳出削減等を始めとして様々な取組が考えられますが、具体的取組内容についてのお考えを300字以内でご記入ください。 | | |

政策コメンテーター報告（第２回、意見照会期間：2014年９月24日～10月６日） ロバートフェルドマン：モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社チーフエコノミスト

| 質問事項 | | 選択式回答 | 記述式回答 |
|---|---|---|---|
| 女性の働き方に中立的な税制・社会保障制度等の在り方 | | | |
| ３－１ | どのように女性の働き方に中立的な社会制度を実現していくべきとお考えか、その理由とともに300字以内でご記入ください。 | － | 税制、社会保障制度、配偶者手当の措置は当然と言える。男性の働き方を効率よく直して初めて女性の働き方がよくなる。ホワイト・カラー・エグゼンプションも、労働争いの金銭解決を法律化して初めて「適材適所」になる。 |
| ３－２ | 女性の働き方に中立的な制度を論じるに当たって、その背景にある事項（女性が働くことへの人々の意識や職場慣行、男性の働き方、子育て支援等の環境整備、家族のあり方等）について、特に言及すべきことがありましたら300字以内でご記入ください。 | － | 保育園を厚労省の管轄から、幼稚園を文科省の管轄から外し、都道府県の管轄にすべき。長時間労働の解決策は残業代の制度を改革すること。 |